

**製品名: HDAC5 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab00402**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% アジ化ナトリウムを含む PBS 液 (pH 7.3)。
精製	アフィニティークロマトグラフィー

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	Calculated MW: 122 kDa; Observed MW: 122 kDa

**抗原情報**

遺伝子名	HDAC5
別名	HD5; NY-CO-9
遺伝子 ID	10014
SwissProt ID	Q9UQL6
免疫原	抗血清はヒト HDAC5 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 464-513

**背景**

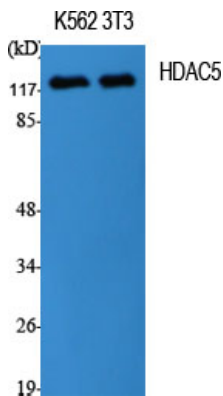
コアヒストン (H2A、H2B、H3、H4) の N 末端リジン残基の脱アセチル化を担う。ヒストンの脱アセチル化はエピジェネティック抑制の標識となり、転写調節、細胞周期の進行、そして発生過程において重要な役割を果たす。ヒストン脱アセチル化酵素は、巨大

な多タンパク質複合体の形成を介して作用する。筋細胞エンハンサー MEF2C の転写を抑制することで筋成熟に関与する。筋分化過程においては細胞質へ移行し、筋細胞エンハンサー因子の発現を促進する。乳がんにおいて、MTA1 を介した ESR1 発現のエピジェネティック制御に関与する。

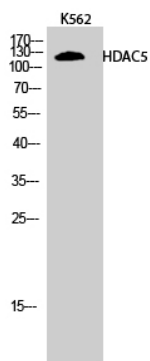
## 研究分野

エピジェネティクスと核シグナル伝達

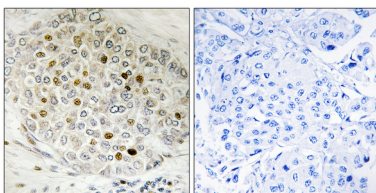
## 画像データ



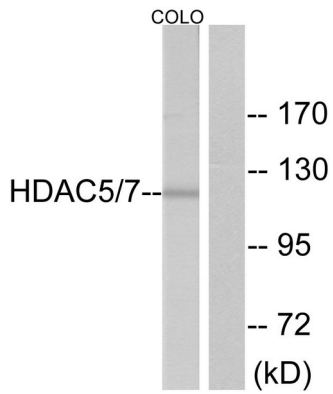
HDAC5 抗体を使用したさまざまな溶解物中の HDAC5 のウエスタン ブロット分析。



HDAC5 抗体を使用した K562 溶解物中の HDAC5 のウエスタン ブロット分析。



HDAC5 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト乳癌組織の免疫組織化学染色。抗原賦活化には、高圧高温クエン酸ナトリウム (pH 6.0) を使用した。右側はブロッキングペプチドを添加したサンプル。



HDAC5 抗体を使用した大腸溶解物中の HDAC5 のウエスタン プロット分析。右側のレーンは合成ペプチドでブロックされています。